

(学校番号008)

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【尾間木小学校】

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<学習上の課題>全体として学習の定着が進んでいるが、課題がみられる領域と向上している領域が混在している。 <指導上の課題>各学年の苦手な領域に重点的に取り組みつつ、一人ひとりのニーズに合った指導を進める必要がある。	⇒ ①繰り返し学習の時間を設定したり、家庭学習の方法を説明するまた、家庭学習週間を設定したり、冊子を配ったりして、学習の土台となる基礎・基本の定着を図る。【日々の授業・宿題で実施】 ②ICTを活用して学習の効率化を図る。【日々の授業で実施】 ③本校の学校研究課題である「対話を重視した学習」を追究し、学び合いの中から自ら課題をつかむことができるよう授業展開を工夫する。【年1回各学年で研究授業を実施】
思考・判断・表現	<学習上の課題>「対話的な学び」に注力し、自分の考えを具体的に表現する力が伸びてきている。課題となる領域は学年により違いがある。 <指導上の課題>「対話」を重視した授業づくりや、教科等横断的な視点を取り入れたカリキュラム作りを進める必要がある。	⇒ ①教科間のつながりを意識した単元計画を作成し、幅広い思考ができるような授業展開を工夫する。【日々の授業で実施】 ②毎時の振り返りを行い、児童が自分の伸びや成長を実感できるようにする。【日々の授業で実施】 ③自分の思いや考えを積極的に表現し、話したい活動の導入を工夫する。【日々の授業で実施】

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	R6年度全国学力・学習状況調査の結果において、算数では、除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係についての理解に成果が見られた。 国語では、文の中における主語と述語との関係をとらえることができたかどうかについて課題が見られた。
思考・判断・表現	R6年度全国学力・学習状況調査の結果において、国語では、資料を活用するなどして自分の考えが伝わるように表現をくふうすることができたかどうかについて成果が見られた。 算数では、折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを自分なりの言葉と数を用いて記述できたかどうかについて課題が見られた。

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	①学習の土台となる基礎・基本の定着を図るため、家庭学習の方法を説明する冊子を配った。 ②ICTを活用した教職員研修を行った。 ③本校の学校研究主題と目指す児童像を設定し、授業研究パート、調査統計パート、環境整備パート、基礎学力パートの4パートに分かれて取り組んだ。	①日々の授業の中で、文の中における主語と述語との関係をとらえる活動を意識的に取り上げ、課題解決を図る。 ②③は変更なし
思考・判断・表現	B	①教科間のつながりを意識した授業展開を工夫することができた。 ②市教育委員会の指導訪問にて、毎時の振り返りの指導を受けた。 ③本校の学校課題研究を通して、話し合い活動の工夫を学年・ブロックで取り組むことができた。	①算数の授業の中で、図や資料、グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを自分なりの言葉と数を用いて記述する活動を意識的に取り上げ、課題解決を図る。 ②③は変更なし

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

⑤	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

※評価
 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一步)